

平成29年度第6回花巻市行政評価委員会会議録

1 開催日時

平成29年8月10日（木） 午後2時～午後4時40分

2 開催場所

花巻市役所3階 302・303会議室

3 出席者

(1) 委員 14名（※欠席3名）

区分	所属団体・役職等	氏名	備考	出欠
公共的 団体等 から推 薦され た者	花巻農業協同組合代表理事副組合長	高橋 勉	人づくり・地域づくり部会	出席
	花巻商工会議所理事	小山田 雅一	しごと部会	出席
	社会福祉法人花巻市社会福祉協議会常務理事	高橋 照幸	暮らし部会	出席
	花巻工業クラブ総務部会長	佐藤 忠司	しごと部会	出席
	一般社団法人花巻観光協会物産販売促進部会長	高橋 誠	人づくり・地域づくり部会	欠席
	花巻市PTA連合会会長	久保田 武司	人づくり・地域づくり部会	出席
	花巻市食生活改善推進員協議会事務局長	吉田 幸子	暮らし部会	欠席
	公益社団法人花巻青年会議所副理事長	箱崎 陽介	しごと部会	出席
	一般財団法人花巻市体育協会専務理事	久保田 廣美	人づくり・地域づくり部会	出席
	花巻市芸術協会理事	福盛田 弘	暮らし部会	出席
	東北税理士会花巻支部	戸来 一夫	しごと部会	出席
	一般社団法人岩手県建築士会花巻支部	木村 直樹	暮らし部会	欠席
学識経 験を有 する者	学校法人富士大学経済学部教授	影山 一男	委員長 しごと部会 (部会長)	出席
	学校法人富士大学経済学部教授	鈴木 健	副委員長 暮らし部会 (部会長)	出席
	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部准教授	堀籠 義裕	人づくり・地域づくり部会 (部会長)	出席
公募	公募委員	高橋 セキ子	しごと部会	出席
	公募委員	板垣 武美	人づくり・地域づくり部会	出席

(2) 評価対象施策担当部課長 13名

佐々木力弥商工観光部長、細川祥市民生活部長、熊谷嘉哉健康福祉部長、市川清志生涯学習部長、布臺一郎教育部長、古川昌商工労政課長、富澤秀和観光課長、伊藤理恵市民生活総合相談センター所長、今井岳彦地域福祉課長、佐藤拓史長寿福祉課長、高橋靖こども課長、中村光一生涯学習課長、菊池郁哉スポーツ振興課長

- (3) 事務局（施策評価及び事務事業評価担当部課） 9名
久保田泰輝総合政策部長
秘書政策課：伊藤昌俊課長、高橋誠課長補佐、赤坂秀樹企画調整係長、
同係瀬川千香子上席主任、佐藤伸昭主任、平石一真主任
財政課：経営財務係菅原由紀子上席主任、高橋芳文主任

4 議題

- (1) 部会
(2) 全体会
ア 評価結果の決定について
イ 行政評価の改善に関する提言について
ウ 委員会報告書の作成について

5 議事録【主な意見・質疑等】

- (1) 部会
（「しごと」、「暮らし」、「人づくり・地域づくり」の3部会に分かれて、部会評価結果について協議）
- (2) 全体会（影山委員長の進行）
ア 評価結果の決定について
赤坂係長：部会ごとにまとめた評価結果について、委員会として評価結果を共有されたいう
えで決定をお願いしたい。
（各部会の評価結果について、部会長が施策評価検証シートを読み上げる形で報告）
板垣委員：施策No.1－3－1「商業形態の多様化」の施策評価検証シートの「③施策の総合的な評価について」の記載について、会議録においては「的確であるが、課題の文章表現がわかりにくい」とある。これは重要事項であるため、施策評価検証シートにも記載すべきではないか。「花巻市まちづくり基本条例」において、行政評価の結果を「市民にわかりやすく公表する」とある。このことから「わかりにくい」という意見は重要であり、施策評価検証シートに記載しない理由はない。
- 影山委員長：この部分については、課題よりも今後の方向性について重点を置いて記載すべきと部会で判断したものである。意図的に「わかりにくい」という意見を外したのではない。しごと部会の委員の皆様のご意見はどうか。
- 板垣委員：ほかの委員のご発言がないので、委員長（しごと部会長）に一任してはどうか。
- 影山委員長：板垣委員のご指摘のとおり、自身も重要な事項と考えるので、施策No.1－3－1「商業形態の多様化」の施策評価検証シートの「③施策の総合的な評価について」の記載に「課題の文章表現がわかりにくい」を加えることにする。
- 堀籠委員：今の点に関連して、会議録と施策評価検証シートの内容に矛盾がないか心配である。もう少し内容をチェックした方が良いのではないか。
- 影山委員長：施策評価検証シートについては行政評価委員会が責任を持つものであるが、

会議録については事務局が責任を持つものである。会議録と施策評価検証シートに不一致があるかもしれないが、行政評価委員会としては、施策評価検証シートを意見として出すものである。

堀籠委員：会議録を資料として事前に送付した意図は何か？会議録にも目を通してチェックしてほしいということではないのか？

赤坂係長：会議録は今年度初めて送付したもの。各部会では担当の施策のみ評価していただいているが、この第6回委員会で行政評価全体の改善について提言をいただくにあたり、担当部会以外の内容も把握していただきたいという意図であった。

伊藤課長：会議録の内容は主な発言であり、それを施策評価検証シートに記載するかどうかは各部会の判断によるものである。各部会での発言を取捨選択の上、施策評価検証シートを作成しているものとする。

佐藤委員：会議録に各自の発言が正確に記載されているのかという点もある。

伊藤課長：会議録の作成にあたっては録音も行っており、それを確認しながら作成している。発言主旨は合っているものと理解している。

板垣委員：会議録の正確性の問題ではなく、会議録と施策評価検証シートとの整合性がある程度保たれるべきではないかという主旨だと考える。

影山委員長：行政評価委員会としては、施策評価検証シートに責任を持つべきである。会議録に基づき、施策評価検証シートに訂正が必要というご意見があれば、施策評価検証シートを訂正するという判断もあり得る。ただし、会議録はあくまで参考資料である。会議録の内容に行政評価委員会の評価は拘束されない。今後、会議録と施策評価検証シートとの整合性をすべてチェックすべきというご意見があれば、次年度以降の改善点として出しても良い。委員会報告書には会議録を掲載しないが、もし、会議録と施策評価検証シートの両方を委員会の報告書に掲載するのであれば、当然、整合性をチェックしなければならない。

高橋セキ子委員：会議録には施策に関する質疑応答が記載されている。質疑応答を経て評価対象施策の施策評価シートを検証した。その検証の最終結果が施策評価検証シートの内容である。

板垣委員：会議録と施策評価検証シートの整合性がとれていなくても良いのであれば、部会で協議して決定した評価結果を全体会で報告する意義はどこにあるのか？

影山委員長：委員会報告書は行政評価委員会全体で合意して責任をもって出すものであるため、報告は必要である。

板垣委員：さきほど、会議録を読んで意見を出したものである。

影山委員長：そのように会議録を利用しても良いだろうが、行政評価委員会としては会議録には責任を持たない。部会の施策評価検証シートに取り入れるかどうかは部会の責任で決定する。事務局でも、委員のご指摘のように、会議録を確認したうえで施策検証シートの記載が不十分であるといったご意見が出されることを想定して会議録を出したのではないか。

会議録と施策評価検証シートとの整合性については、今後の課題として、提言で出していただいた方が良いのではないかと。委員会報告書の中に会議録を加

えるべきである、会議録をホームページで公表する際に各委員にチェックしてもらうべきであるなど。

各部会の施策評価検証シートについては、加筆修正を含めたものを委員会全体の意見として決定してよろしいか。

(「良いです」との声あり。)

イ 行政評価の改善に関する提言について

赤坂係長：行政評価に関して、これまでも委員の皆様からいただいたご意見を参考に随時改善を行ってきた。今後についても、委員の皆様が評価しやすい体制づくり等のご意見をお願いしたい。

戸未委員：委員の構成について、花巻地域の方が大半を占めている。可能であれば、大迫、石鳥谷、東和各地域の代表の方を入れることを検討していただきたい。

影山委員長：委員の選任に関してのご意見を委員会の提言としてよろしいか。

(「賛成」との声あり。)

板垣委員：関連して、仕事の都合であろうが、一度も部会に出席しない委員がいる。少なくとも部会の半数以上に出席できるような方を選任する配慮が必要ではないか。

影山委員長：委員の選任については、以上2点のことを提言とする。それ以外ではどうか。

板垣委員：まちづくり市民アンケート結果を成果指標としている施策が多いが、アンケート結果はあくまで個人の主観である。客観的な評価ではないことを直視したうえで指標を設定しないと成果の判断が揺らぐ。

影山委員長：まちづくり市民アンケート結果を成果指標に使わない方が良いということか。

板垣委員：そういうわけではなく、成果指標に使うのであれば設問の表現を工夫するべきである。

影山委員長：まちづくり市民アンケートの回答項目を改善すべきということか。

高橋照幸委員：具体的に「困ったことを身近に相談できる人や機関がありますか？」という設問で、アンケート回答時点で困りごとがあれば回答しやすいだろうが、そうでない場合、「なし」としてしまう可能性がある。設問を変えるのも労力がかかるし、改善により設問項目が多くなりすぎても回答者が拒否反応を示してしまう。そこが難しい点である。

影山委員長：委員会としては、評価の客観性を担保するのに必要な設問に改善してほしい、という主旨を踏まえた提言としよろしいか。

(「良いです」との声あり。)

板垣委員：事務事業評価シート、施策評価シートシートの記載内容がしっかりしていないと行政評価委員会での評価が揺らぐ。職員は忙しいだろうが、各シート記載のスキルを高めてほしい。また、予算編成作業や各計画のローリング作業など行政評価の類似作業がある。行政評価が二度手間にならないような工夫をして、職員の労力を軽減していかないと続かない。

影山委員長：今のご意見は事務局や担当課で持ち帰って参考にさせていただきたい。委員会報告書に掲載する提言というよりは、参考意見としてよろしいか。

板垣委員：委員会報告書には掲載しなくて結構だが、部長級職員のチェックの徹底を重ねてお願いしたい。

影山委員長：内部評価のさらなる充実について、事務局や担当課に詰めていてもらいたい。以上、委員の選任と市民アンケートについて提言する。

ウ 委員会報告書の作成について

赤坂係長：委員の皆さまからいただいた評価結果と提言をまとめた報告書を作成して、後日、委員長より市長に提出していただく。報告書は次第の裏面の内容をまとめて作成したいと検討している。

影山委員長：委員会報告書の作成について、事務局案のとおり、委員長である私と事務局とで進めてよろしいか。

板垣委員：「仮題」として「平成29年度花巻市行政評価委員会評価報告書」とあるが、昨年度の報告書の題名は何か？

影山委員長：昨年度は「行政評価報告書」であった。今年度は「行政評価『委員会評価』報告書」とし、「委員会の評価」ということが前面に出ている。ほかにご意見等はないか。

（「なし」との声あり。）

影山委員長：それでは委員会報告書の作成については事務局案のとおりとする。